

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 4 月 22 日(2022.4.22)

【公開番号】特開 2021-101956(P2021-101956A)  
 【公開日】令和 3 年 7 月 15 日(2021.7.15)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-031  
 【出願番号】特願 2019-235029(P2019-235029)  
 【国際特許分類】  
     A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【F I】  
     A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

20

所定条件の成立に基づいて図柄の変動表示を行い、該変動表示の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機において、  
 遊技に関する演出音を出力可能な演出音出力手段と、  
 遊技者操作に基づいて前記演出音の音量を変更可能な音量変更手段と、  
 前記演出音の音量として何れの音量が設定されているかを遊技者に認識させる音量画像を表示する制御を行う音量画像表示制御手段と、  
 管理者操作に基づいて前記音量変更手段により変更可能な音量の上限を制限する音量制限手段と、を備え、  
 前記音量画像表示制御手段は、  
前記音量制限手段によって音量の上限が制限されている場合には、該上限が制限されていることに基づく制限表示制御を実行可能であり、  
前記音量制限手段によって音量の上限が制限されていない場合には、該上限が制限されていないことに基づく非制限表示制御を実行可能である  
 ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

40

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、  
 所定条件の成立に基づいて図柄の変動表示を行い、該変動表示の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機において、  
 遊技に関する演出音を出力可能な演出音出力手段と、  
 遊技者操作に基づいて前記演出音の音量を変更可能な音量変更手段と、  
 前記演出音の音量として何れの音量が設定されているかを遊技者に認識させる音量画像を表示する制御を行う音量画像表示制御手段と、  
 管理者操作に基づいて前記音量変更手段により変更可能な音量の上限を制限する音量制限

50

手段と、を備え、

前記音量画像表示制御手段は、

前記音量制限手段によって音量の上限が制限されている場合には、該上限が制限されていることに基づく制限表示制御を実行可能であり、

前記音量制限手段によって音量の上限が制限されていない場合には、該上限が制限されていないことに基づく非制限表示制御を実行可能である

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成では、遊技者の操作に基づいて変更された演出音の音量を、音量画像に表示させるとともに、管理者の操作に基づいて、変更可能な演出音の音量の上限が制限されている場合と制限されていない場合とで音量画像の表示制御を異ならせるように構成している。これにより、演出音の音量の上限が制限されていることを遊技者が把握することができ、さらに、ホール側としては、音量の調整範囲を制限していることを遊技者に適切に知らせることができる（例えば、段落 2416～2431、図 247～256 等の記載を参照）

20

30

40

50